

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 2月 15日

鹿児島市長 殿



提出者

住 所 鹿児島市平之町 7番17号

氏 名 株式会社 前田組

代表取締役 前田 昭博

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 099-222-6111 担当者: 宮原

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 前田組
事業場の所在地	鹿児島市平之町 7番17号
計画期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類: 建設業 中分類: 総合工事業
②事業の規模	前期完成工事高 47億円
③従業員数	56名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 産業廃棄物処理手順・産業廃棄物処理に係る管理体制

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙1 産業廃棄物処理手順・産業廃棄物処理に係る管理体制			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	排 出 量	別添内訳書【A】	t
	(これまでに実施した取組)		
解体工事による産廃のため全体量の削減は出来ないので、分別・中間処理を確実にする。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	排 出 量	別添内訳書【B】	t
	(今後実施する予定の取組)		
解体工事による産廃のため全体量の削減は出来ないので、分別・中間処理を確実にする。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
解体計画(行程表)を確実にし、再生利用を増やす。			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
解体計画(行程表)を確実にし、再生利用を増やす。			

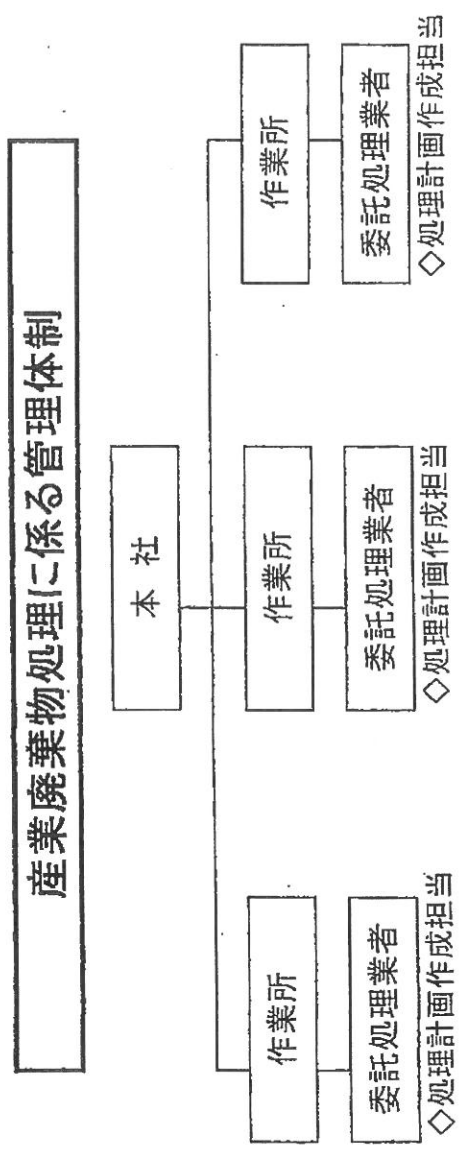
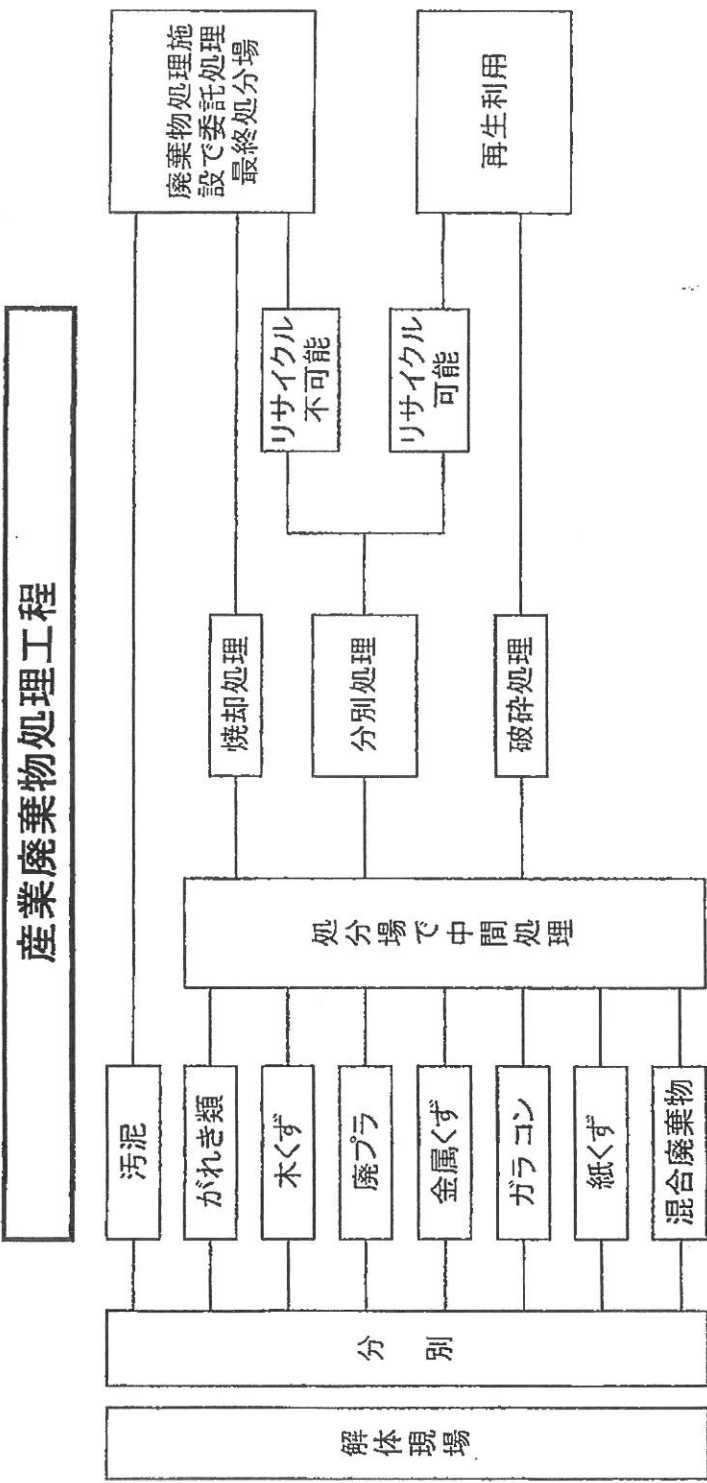
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添内訳書【C】	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添内訳書【D】	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添内訳書【E】	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添内訳書【F】	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添内訳書【G】	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添内訳書【H】	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添内訳書【I】	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添内訳書【J】	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	全処理委託量	別添内訳書【K】	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添内訳書【L】	t
	再生利用業者への処理委託量	別添内訳書【M】	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添内訳書【N】	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添内訳書【O】	t
	(これまでに実施した取組) 解体工事による産廃のため全体量の削減は出来ないのので、分別・中間処理を確実にする。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添内訳書	
	全処理委託量	別添内訳書【P】	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添内訳書【Q】	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添内訳書【R】	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添内訳書【S】	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添内訳書【T】	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>解体工事による産廃のため全体量の削減は出来ないもので、分別・中間処理を確実にする。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

(お願い:2種類までは計画書に記載することができですが、集計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

数字(t)

廃棄物の排出の抑制に関する事項											合計	
	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン(※)	紙くず	汚泥	建設混合廃棄物(※)	ガラス陶磁器	繊維くず	石膏ボード	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項												
①現状(前年度実績)	222	219	45	58	1,040	23	983	20	70	2	21	2,704
②計画(今年度目標)	100	100	50	50	500	25	300	20	70	2	20	1,237
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
①現状(前年度実績)												0
②計画(今年度目標)												0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項												
①現状(前年度実績)												0
②計画(今年度目標)												0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
①現状(前年度実績)	222	219	45	58	613	23	983	20	70	2	21	2,277
全処理委託量【K】					427							427
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量【L】												0
内訳 再生処理業者へ処理を委託した量【M】												0
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託した量【N】												0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【O】												0
②計画(今年度目標)	100	100	50	50	200	25	300	20	70	2	20	937
全処理委託量【P】					300							300
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量【Q】												0
内訳 再生利用業者へ委託する量【R】												0
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託する量【S】												0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【T】												0

※ガラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラ・コンの項目です)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。